

熱海写真俳句撮詠物語

令和2年8月句会

優秀作・秋山楽亭



露深くコロナ禍重し街眠る

例年の梅雨明けの頃になっても、上空は厚い雲に覆われている。巷では目には見えない新型コロナウイルスが牙をむき世界中を暴れまわり拡大し続けている。目まぐるしい程の医療、AI技術の進歩を遂げている現代なのだが、人々はこの牙に対して未だ有効な手立てもなくただじっと耐えしのんでいる。一日も早く有効なワクチンを開発し世界のこの状況を撲滅してほしいと願うばかりである。